

2016 年度S Semester 応用日本語(7) / 日本語(52)b : 歴史・社会の用語 シラバス

(前期生) Applied Japanese (7): Terms on History and Society

(後期生・交換留学生) Japanese (52)b: Terms on History and Society

対象 : Applied Japanese (7) : PEAK 1 年生

Japanese (52)b : PEAK 2 年生、3 年生および AIKOM/USTEP 生

曜日・時限 (教室) : 火曜 4 限 (10 号館 303 教室) *S1 ターム (4 月~5 月) のみ

科目カテゴリ : 総合科目 L (言語・コミュニケーション) **単位数** : 1

教員 : 松下 達彦 (まつした・たつひこ)

Eメール : *****@*****

電話 : 03-****-**** (研究室直通) または 内線 *****

研究室 : *****

面談・アドバイスを希望する場合 : 事前にアポイントメントを取ることが望ましい。

(火曜・水曜・金曜の 5 限以後は研究室にすることが多い。)

授業の目標、概要 (Course Objectives/Overview) :

この科目は中級 (J3-4) のレベルの科目です。現代の日本や世界の歴史用語を、インタビューやインターネットなどを使って勉強します。生活の中に現れる歴史に関する話題を日常会話や広告などのメディアの中に探して、その意味を理解し、歴史の関する話題で会話できるようになることが目標です。

具体的には、以下のことをできるようにします。

- 1) 日本にいる多くの人が知っている歴史的な用語 (人名、事件名など) を日本語で理解する。
- 2) 歴史的な用語について普通の人々がどの程度のことを知っているのかを理解する。
- 3) 歴史の関する話題についてまわりの人とおしゃべりする。
- 4) 歴史に關する自分の考え・意見を発展させて日本語で表現し、議論する。

授業のキーワード : 時事問題 日本 メディア ニュース

授業計画

4/5	科目の説明、頻度の高い用語、 ディスカッション (古代)	5/24	発表&ディスカッション (昭和) レポート提出
4/19	発表&ディスカッション (奈良~平安)	5/31	発表&ディスカッション (世界史)
4/26	発表&ディスカッション (鎌倉~室町)		レポート返却
5/10	発表&ディスカッション (戦国~江戸)		
5/17	発表&ディスカッション (明治~大正)		

授業方法

学生のすること

- ✚ 指定された時代、地域の、歴史上の人物名、事件名、事柄名などを取り上げて、(1)それについて知られていることをインタビューしてくる、あるいは(2)広告など、メディアでどう使われているかを調べる。
- ✚ インタビューやメディア調査の結果、わからないことが出てきたら、それを調べる。
- ✚ クラスでわかったことを発表する。
- ✚ クラスで質問をしたり、ディスカッションに参加したりする。(クラスビジターを探して呼んできてよい。)
- ✚ 関心のある事柄について、インタビューレポートを書いて提出する。

教員のすること

- ✚ 取り上げる用語の例を用意する。
- ✚ 授業で発表内容についてのディスカッションをリードし、必要に応じてコメントする。
- ✚ クラスビジターを探して呼んでくる。
- ✚ レポートを読んで評価する。

成績評価方法

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1) クラス活動への参加 (質問、コメントなど) | 10% |
| 2) 調べた内容についての発表 (約3回?) | 60% |
| 3) レポート | 30% |
- (インタビューレポート、調べたことのまとめ、評論など)

「クラス活動への参加」「発表」の主な評価基準

発表後のディスカッション、教員の講義に対する質疑応答など、クラス内での活動全般について、以下の諸点などにつき、教員の観察により総合的に評価する。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ✚ 積極性、頻度 | ✚ 論理性・批判性 |
| ✚ わかりやすさ、発言の態度・方法 | ・ 根拠に基づいた議論か |
| ・ わかりやすいか | ・ 異なる視点の提示や検討があるか |
| ・ 発言は効果的になされているか | ✚ 創造性・発展性 |
| ・ 他者と議論する際のマナーは適切か | ・ 新しい発想や刺激があるか |
| | ・ 新しい課題の発見があるか |

教科書・参考書は特に使用しないが、体系的に学習したい人には、以下の本は参考になる。

東京外国語大学留学生日本語教育センター(1990)『留学生のための日本史』山川出版社

*学習者用ノート、練習問題集が別売されている。地理など、内容に一部古いところがある。